



オールド・ボーイズ・ネットワーク（OBN）ってなあに？

オールド・ボーイズ・ネットワーク（OBN）とは？

オールド・ボーイズ・ネットワーク（OBN）とは、これまで男性が多数派を占める組織の中で培われてきた、明文化されていないルールや約束事、仕事の進め方、人間関係などであり、組織を支える古い価値観や慣習となっているものです。以下に代表的な例を挙げてみます。

- ・飲み会やゴルフの集まりなど、非公式の場で出た話で仕事が進む
- ・女性への過剰な配慮から、育児中の女性には責任ある仕事や出張などをさせてはいけないと思込んでいる
- ・若手や女性が提案しても評価されず、同じ内容をベテランが言うとお通る



多様性と変革を阻む「見えない壁」

こうした暗黙の了解や思い込みは、仕事を円滑に進める上で「あたりまえ」の意識、行動として定着してきたものであり、一人ひとりに悪意があるわけではありません。

しかし、そうした共通認識が一部のメンバーのみに共有され、同じような考え方や成功体験を持った人達が組織の中心的役割を引き継いでいくことによって、意図せずに異なる視点を排除する「見えない壁」が作られ、イノベーションや新しいアイデアが生まれにくい環境がつくられてしまいます。

例えば、組織の中でマイノリティである女性は、既に形成された男性中心のネットワークの中に参加しにくく、仕事を進めるために大切な知識や必要な行動規範などの情報を受け取ることができないだけでなく、人脈づくりが遅れるため、結果的に昇進・昇格の遅れにつながります。また男女を問わず、近年では飲み会やゴルフに参加しない若手世代も増えています。従来のコミュニティに入らない若手世代も、やはり仕事に関する情報を受け取れずに成長が阻まれ、仕事に対するモチベーションが維持できなくなる可能性があります。



私たちにできること

自分と似た考え方の男性を仲間に加えて同じやり方を繰り返していく OBN の壁を、少しでも低く、薄くするには、どうすればいいでしょうか。以下に行動例を挙げてみます。

- ・役職者が男性ばかりになっている場合は、女性の候補者を入れることができないか確認する
- ・仕事の進めやすさや頼みやすさではなく、本人の意思や能力に応じて仕事を分担する
- ・勤務時間外の場合だけでなく、工作中や人事面談の場でもコミュニケーションの機会を確保する

企業や地域が新しい時代に対応していくためには、異なる属性や価値観を持つ人々を活かせる組織風土をつくるのが大切なのです。

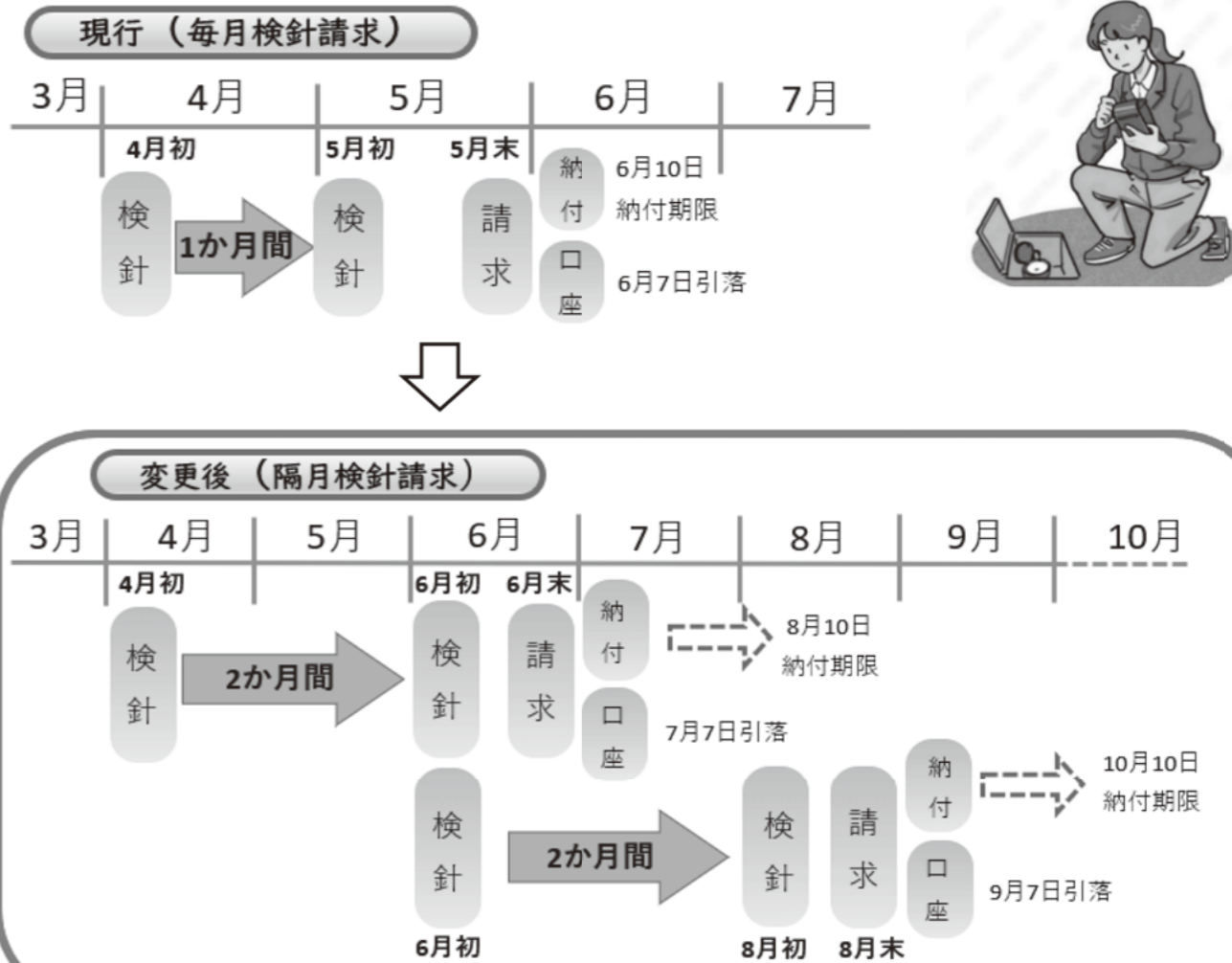
●問い合わせ 政策企画課 政策企画係 ☎ 68-2211（内線338）

<上下水道料金が隔月検針請求に変わります>

令和8年4月から経費削減の取り組みとして、水道（井戸）メーターの検針及び請求が「毎月」から「隔月」（2か月に1回検針して請求）に変更になります。

利根町は偶数月検針になります。検針期間（1日～8日）はこれまでと変わりませんが、検針日は前後する場合があります。また、変更に伴って改めて支払方法等の手続きをしていただく必要はありません。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

隔月検針請求変更後のサイクル例



<検針や上水道料金に関する問い合わせ>

茨城県南水道企業団 業務課

茨城県龍ヶ崎市長山1-5-2 TEL 0297-66-5132

業務時間 8:30～17:15

（土・日・祝祭日除く）



<下水道使用料に関する問い合わせ>

利根町役場 生活環境課 下水道係

茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211

業務時間 8:30～17:15

（土・日・祝祭日除く）

